



2022年6月分

TOKYO CUSTOMS HANEDA BRANCH
東京税関羽田税関支署

羽田空港貨物取扱量

総取扱量は5カ月連続減、積込量は6カ月連続減、取卸量は4カ月連続減

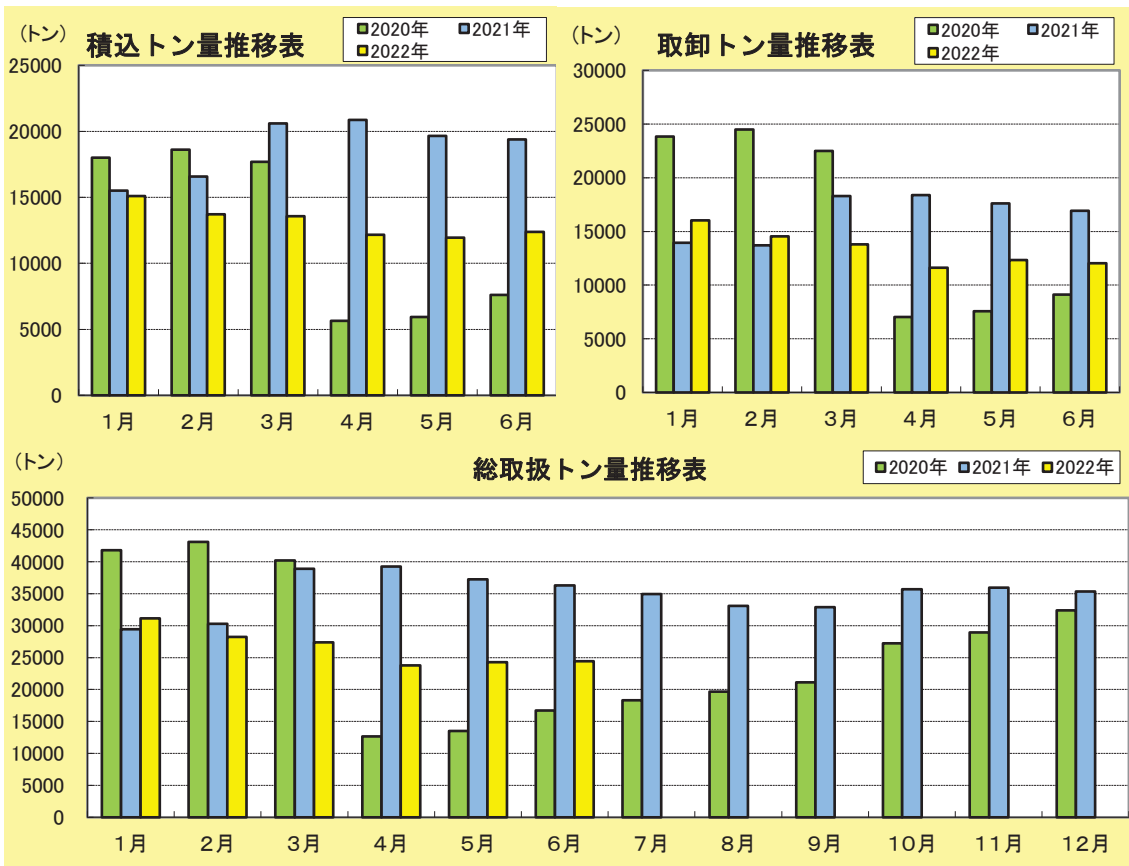
概要

2022年6月の羽田空港における国際航空貨物取扱量は、

総取扱量 24,425トン(前年同月比 32.7%減)

積込量 12,385トン(同 36.1%減)

取卸量 12,040トン(同 28.9%減)

となり、前年同月比で見ると、総取扱量は5カ月連続、積込量は6カ月連続、
取卸量は4カ月連続でマイナスとなった。

1. 本資料を他に転載するときは、東京税関（羽田税関支署）の資料による旨を注記してください。
2. 本資料の問い合わせは、東京税関羽田税関支署業務管理課（TEL050-5533-6971）まで。



地域別通関動向

● 輸出货量

羽田空港から輸出された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 1,020トン(前年同月比 12.6%減、シェア 13.9%)

その他地域通関 6,329トン(同 32.8%減、同 86.1%)

となり、前年同月比で見ると、羽田地域通関は4カ月連続、その他地域通関は5カ月連続でマイナスとなった。

● 輸入量

羽田空港で輸入された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 3,435トン(前年同月比 27.0%減、シェア 47.5%)

その他地域通関 3,792トン(同 28.6%減、同 52.5%)

となり、前年同月比で見ると、羽田地域通関、その他地域通関ともに、4カ月連続でマイナスとなった。



仮陸揚貨物動向

仮陸揚貨物を積込、取卸別にみると、

積込量 5,036トン(前年同月比 42.7%減)

取卸量 4,813トン(同 30.3%減)

となり、前年同月比で見ると、積込量は7カ月連続でマイナス、取卸量は6カ月連続でマイナスとなった。



生鮮・ドライ取卸貨物動向

2022年6月の羽田空港で輸入された貨物(羽田地域通関分)を生鮮貨物及びドライ貨物別にみると、

生鮮貨物 823トン(前年同月比 36.0%減、シェア 24.0%)

ドライ貨物 2,612トン(同 23.7%減、同 76.0%)

となった。

生鮮貨物の内訳は、野菜等19.4%(前年同月比24.6%減)、水産物15.2%(同46.4%減)、果物37.2%(同50.8%減)、植物(切花等)11.3%(同0.6%増)等となった。

羽田空港取卸貨物の生鮮・ドライ貨物の内訳

	2022年6月			2021年6月		
	トン	前年同月比	構成比	トン	前年同月比	構成比
羽田空港輸入貨物量	3,435	73.0%	100.0%	4,708	160.8%	100.0%
生鮮	823	64.0%	24.0%	1,286	344.8%	27.3%
ドライ	2,612	76.3%	76.0%	3,422	134.0%	72.7%